3－3　各部の納まり詳細図

鉄骨下地	横張り	釘打ち施工 （木胴縁下地）

1）基本構成図・下地組図	1．5尺×10尺

●通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●C形鋼は75×45～100×50㎜、厚み1．6～2．3㎜を606㎜以下の間隔で横に組みます。
●C形鋼と直交させるように500㎜以下の間隔で厚み33㎜以上の木胴縁を入れ、ビスでC形鋼に留め付けます。（胴縁留付ビス：ステンレステクスネジφ5㎜以上×60㎜以上）
●縦胴縁と開口部まわりの胴縁は30㎜程度の隙間を設け、通気する構造とします。
●C形鋼の下地組みにビスでモエンを直張りする施工は、絶対に行わないでください。
●出隅部、入隅部、開口部まわりなどは角パイプやC形鋼ダブルとするなど、木胴縁が留め付けられるようにします。
※準耐火構造および防火構造で、鉛直荷重を負担する構造部材のC形鋼の厚みは2．3㎜とします。

